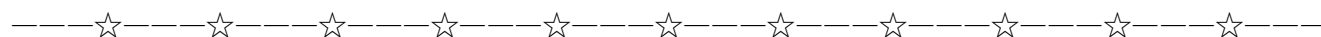


第5次清水町総合計画(計画期間:令和3年度~令和12年度)では、将来都市像「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」の実現に向けて、『協働・協創』、『地域連携』、『SDGs』の3つの取組方針に基づいてまちづくりに取り組むこととしています。

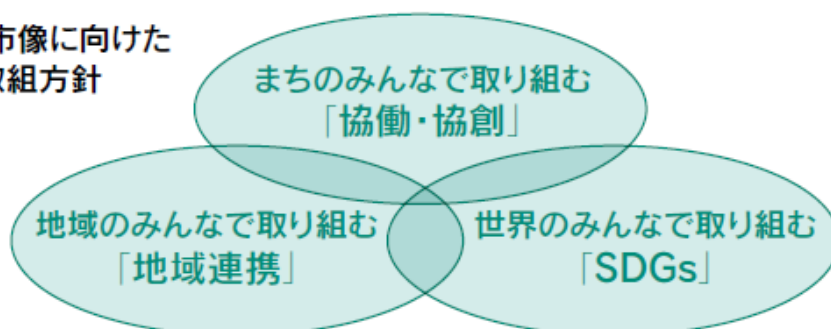


「第5次清水町総合計画」より抜粋

2 将来都市像の実現に向けて

将来都市像「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」の実現に向けて、次の3つの方針に基づいてまちづくりに取り組んでいきます。

■将来都市像に向けた 3つの取組方針



世界のみんなで行く組む——『SDGs』

「SDGs(持続可能な開発目標)」は、2015年の国連サミットで採択された2030年を年限とする国際目標です。「誰一人取り残さない」持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットで構成されており、環境・社会・経済にまたがる多くの課題への、統合的な取組を求めています。

わたしたちも、豊かな自然環境をはじめとするかけがえのない資源を守り生かしながら、これから生まれてくる未来世代を含めたすべての町民が「くらしやすさ」を享受し、自分らしい未来を描くことができるまちの実現を目指しています。それは「SDGs」の理念に共通する考え方であり、「SDGs」が掲げる具体的な目標の多くが将来都市像実現の指針と重なります。そこで、基本計画の施策ごとに関連するゴールを示し、「SDGs」の視点を加えたまちづくりをすすめて、世界の様々な課題を解決する一助となるよう努めます。